

サーバス・ハンドブック 2015



目 次

- I. SI (Servas International 国際サーバス)ハンドブック2015への序言
 - II. SI ハンドブックの記載範囲
 - III. サーバスの概要
 - 1. サーバスとは何か
 - 2. 国際サーバスのスローガン、使命およびビジョン
 - 3. サーバスのホストとトラベラー
 - 4. ホスト
 - 5. トラベラー
 - 6. サーバス・コミュニティ
 - 7. 平和活動
 - IV. 国際サーバス
 - 1. 国際サーバスの構成
 - 2. 国際サーバスの決定方法
 - 総会
 - 遠隔投票(distant vote)
 - 3. 国際サーバスの役職と各種委員会
 - 4. 国際サーバスの諸手順と業務の執行
 - 使用言語
 - サーバス・エリア(地区区分)およびエリア・コーディネーター
 - メンバー・グループが毎年果たすべき義務
 - 国際サーバスの技術面
 - 国際サーバスのニュースレター
 - 国際サーバスの紛争解決法
 - SYLE (Servas Youth Language Experience) プログラム
 - 5. 国際サーバスの財務手順
 - V. ナショナル・グループ(各国・地域のサーバスグループ)
 - 1. ナショナル・グループの定義
 - 2. メンバー・グループの定義
 - 3. ナショナル・グループの構成
 - 4. ナショナル・グループの役割
 - 5. ナショナル・グループの任務
 - 6. ナショナル・グループの設立
 - VI. サーバス・ボランティアのための指針
 - 1. 質問や疑問に応える
 - 2. ホストへの情報提供
 - 3. トラベラーへの情報提供
 - 4. ホストやトラベラーとのインタビューのための指針
 - VII. 書式のサンプル
 - 1. ホスト登録
 - 2. トラベラー認定状(LOI)
 - 3. 全般的な情報提供
 - 4. トラベル・レポート
- 補足 A: 補助金交付を申請できるプログラム
補足 B: 承認されている外部との契約
補足 C: 総会と遠隔投票による諸決定

I. SI (国際サーバス)ハンドブック 2015 への序言

サーバスでは、ネット上の新しいウェブサイトである ServasOnline を、世界中に張り巡らせることを優先課題にしています。できれば 2016 年内に完成させたいと考えています。

ServasOnline の開設によって、サーバスは、会員が特定の国・地域に所属するだけの身分である組織から、世界中で通用するサーバス会員であって、たまたま特定の国・地域に居住している会員からなる組織、に変貌をとげるでしょう。

この変化がどのような結果をもたらすか不明ですが、次のような変化が起こることが考えられます。

- ・ 国際サーバス規約の改訂
- ・ 国際サーバス執行委員(SI EXCO)の役割と顔ぶれの変更
- ・ 国際サーバスの財務と予算編成モデルの変更
- ・ コミュニケーションに関する変更、特にソーシャルメディアの多用に影響される変更

これらの差し迫った変更に応じて、SI ハンドブックの中身も変わるでしょう。

しかしながら、SI ハンドブックは 2000 年以来更新されていませんので、この 2015 年版は、今後サーバスがより良く説明されて新しい組織が一層の確実性をもって記述される時までの間の、ギャップを埋めることを意図しています。

II. SI ハンドブックの記載範囲

国際サーバスのハンドブックは、国際サーバスの役員が必要な諸手順を行うためのガイドであり、サーバスの諸手順に関する各国・地域のサーバス・グループのための参考文献です。そのため、この組織の中での物事の進め方の提案や、組織の規約を実現するための根拠を提供しています。この SI ハンドブックは国際サーバス規約によって規制されています。

III. サーバスの概要

1. サーバスとは何か

「サーバス」はエスペラント語(ポーランド人医師ザーメンホフ博士によって考案された国際語)で「奉仕すること」を意味する言葉です。サーバスは、1949 年に Bob Luitweiler (米国人の教育者、思想家。19xx~20xx)によって、理解と寛容と世界平和を築く平和運動として設立されました。現在、サーバスは世界の 130 以上の国と地域に存在しています。サーバスの成立とボブ・ルイトワイラーのビジョンの背景について更に知りたい方は、www.servas.org に進み、その頁の左にある”Our Philosophy”を参照してください。

「サーバス」は、ホストとトラベラーの、非営利で非政治的な、信仰や人種の違いを超えたシステムであり、異なる文化間より深くより個人的なふれあいの機会を提供することによつ

て、人々の中の平和と理解を推進することを最終目標としています。認定されたトラベラーは、その年齢を問わず、訪問する国・地域においてホストに会い、あるいはホスト宅へ短期間(通常は2泊)宿泊する機会が与えられます。トラベラーは贅沢な宿泊施設や娯楽の提供を期待するのではなく、ホストの日常生活を共有することを期待すべきです。

各国・地域のサーバス・グループはホストのリストを用意しており、トラベラーはそれによって直接にホストと連絡をとって、自分の訪問を手配します。トラベラーはホストリストから、趣味や信条の点で最も興味をひかれるホストを選ぶことができます。自分がホストになって、トラベラーを自宅に招き入れることもできます。ホストもトラベラーも、異なる文化について学ぶことに真摯な関心を有しており、柔軟な人格の持ち主です。ホストもトラベラーもインタビューを受ける必要があり、また一定の料金を負担します。

(注 一定の料金: LOI スタンプ代)

「サーバス」を通じて、トラベラーは、ホストやその家族・友人にその日常生活の中で会う機会を得られます。「サーバス」のホストは、世界中からのトラベラーを自分の家や生活の中に迎え入れることができます。

2. 国際サーバスの信条、使命およびビジョン

信条: 提案されている国際サーバスのスローガンは、「開かれた扉 — 諸文化を通じて平和と理解を築くこと」

核心的な価値観: 提案されている核心的な価値観は、「信頼、寛容、開かれた心、尊敬」

使命: 「サーバスは、人々が平和的に共存して生きることができるよう、信頼、寛容、開かれた心、および尊敬を推進します。サーバスの会員は、異文化理解、男女平等および民族性やイデオロギーや性的傾向や国民性における多様性の価値を尊重します。人々の移動の増加とグローバリゼーションの時代にあって、国境や文化を越えた理解を推進する必要性は増すばかりです。

人々が平和と一体性と調和のうちに生きる条件を達成するためには、ホスピタリティーと文化的な相互交流こそが不可欠の道具なのです。

3. サーバスのホストとトラベラー

ホストとトラベラーは、サーバスの不可欠の部品です。

サーバス会員になりたい人は、この組織の目的と構造について理解し、自分の興味関心がサーバスのそれと合致するものであるかどうかを確かめるために、インタビューを受けます。ホストとトラベラー両方の体験、知識、および好奇心は、互いのコミュニケーションのための必須の材料になります。

ホストとトラベラーは、共に過ごし、開かれた心で、互いの敬意のうちに、共有する時間を持つことが期待されています。人種、宗教、国籍の違いは、ホストとトラベラー双方に知識と理解を広げる機会を提供してくれます。サーバスの目的と規則に同意することは必須のことです。

4. ホスト

ホストはトラベラーを迎え入れます。ホストリストには、ホストの氏名と住所、および話せる言語や趣味などを含むいくつかの情報が出ています。認定されたトラベラーはホストリストを入手することができます。

トラベラーを自宅に泊めることのできないホストは、デイ・ホストとして参加することが出来ます。デイ・ホストは、都合のつく時間にトラベラーに会い、情報提供や観光案内をしたり、自分の職場や会食に招待したり、あるいは単におしゃべりを共にすることも可能でしょう。ほとんどのホストはトラベラーに2泊の宿泊を提供し、食事を共にするよう招待します。ときにはトラベラーが、ホストのために料理したり、軽食や会食に誘うこともあるでしょう。ホストがトラベラーに交通手段を提供することは期待されていません。ホストはまた、都合が悪ければ遠慮なく「ノー」と言うことができます。

サーバス・ホストになるために会費を支払うかどうかは、国・地域によって決められています。ホストどうしの集まりがたびたび開かれています。

5. トラベラー

トラベラーは、訪問するサーバス・ホスト宅に、自分の経験と知識と好奇心を持ってきます。

成人のトラベラーは、各人が署名と認定スタンプと日付のある認定状（Letter of Introduction 通称 LOI）を受け取ります。LOI はサーバスにおけるトラベラーの「パスポート」なのです。トラベラーが子供連れで旅行する場合は、成人の LOI に記載します。LOI は発行日から1年間有効です。インタビュー責任者は、トラベラーが訪問する国や地域のホストリストも手配します。

LOI 発行に関わる費用は、各国・地域が独自に設定します。

トラベラーは、ホストまたはデイ・ホストに会った時に LOI を提示する必要があります。

ホストリストが発行前に入手できなかった場合、訪問国・地域に到着してから、認定スタンプのある LOI を提示した上でそれを要請することが出来ます。

トラベラーは、帰国後に短い旅行報告を書いて、宿泊したホスト一覧に住所や電話番号の変更、ホストとの連絡が困難であったならそのことなど、他のトラベラーの参考になるアドバイスを注記して下さい。

トラベラーとしての一般的な必要条件および責任（国・地域によって多少の違いがあります。）

- ・ トラベラーは 18 歳又はそれ以上であること。子供は親と一緒に旅行できます。（「若者」の訪問をオファーしている国・地域がありますが、その場合はその「若者」の親と個々のホストの間で調整して下さい。）
- ・ トラベラーは2通の人物証明書（letter of reference）の提示を求められるかもしれません。
- ・ 成人トラベラーは各自1通の LOI を必要とします。
- ・ LOI には認定スタンプが添付してあり、その有効期間は1年間です。
- ・ サーバスの役職者はすべてボランティアですから、トラベラーはインタビュー手続きや

認定済み L01 の受領のために、時間の余裕をみておく必要があります。

- ・ トラベラーは通常は自国・地域でサーバスに加盟しますが、例外的に外国で会員になることもできます。
- ・ トラベラーはホストリストを見て訪問を手配します。トラベラーはホストリストをよく見た上で、希望のホストまたはデイ・ホストと連絡する際には、なぜその人達に会いたいのか、宿泊したいのか、を伝えましょう。多数の人に一度にメールを送りつけるのではなく、個々人あてに送信してください。人によってはメールを毎日見るわけではないことに注意してください。
- ・ ホストにはトラベラーを泊める義務はないことを銘記しておいて下さい。大都市や観光名所では、ホストやデイ・ホストに沢山のリクエストがあるかもしれません。サーバスのホストやデイ・ホストは他の組織や活動に関わっている場合もあり、いつでも手が空いているわけではないかもしれません。トラベラーは、どの場所にもサーバスのホストがいるだろうと考えてはいけません。自分だけで行動しては持ちえないような考えや体験を分かち合い、他の文化を知るようになることが目的なのです。
- ・ 自分の国・地域や家庭生活の紹介する写真や、ホストやデイ・ホストのための小さな土産品を持参しましょう。トラベラーと料理の責任を分担することを歓迎するホストもいます。
- ・ 連絡や行動をとるにあたって、ホストに対する気遣いを忘れないでください。早朝や夜遅くに電話しないでください。ホストリストに喫煙 OK の記載がない限り、喫煙しないでください。
- ・ デイ・ホストは普通は宿泊の提供はしませんが、トラベラーと会うことができます。ときには、自宅外でトラベラーに会ってから自宅に招くかどうかを決めることを望むデイ・ホストもいます。デイ・ホストは、より多くの時間をトラベラーとすごせることがよくあります。

6. サーバス会員の集まり

サーバス会員はしばしば、食べ物を持ち寄る「ポットラック」やハイキング、名所見物といったローカルな行事、あるいは単に定期的に地元のレストランやパブに集まります。

サーバスのグループがソーシャルメディアのサイトに紹介されることもあります。

グループでの接触に加えて、個々のサーバス会員どうしが、滅多に会うことはないにもかかわらず、非常に強い友情を維持するケースが多々あります。この人と人との結びつきこそサーバスの真髄なのです。

7. 平和活動

サーバスは "Peace Builders" つまり「平和を築く者たち」として歩みを始めました。そして「平和」が現在までサーバス会員であることのユニークな特色となってきました。平和を築くことは、長期に亘る平和の文化を創出することをその命題とします。平和を築くための活動は、個人とコミュニティーと社会の中に理解と寛容を構築し、新しい協力体制を確立することを目標とします。

国際サーバス執行委員会 (Servas International Executive Committee 略称 SI EXCO) の6名の役員の中にピース・セクレタリーがいます。

その任務の中には、各国・地域のピース・セクレタリーの業務を調整すること、各国・地域のグループ内部あるいは国際的な場面で国際サーバスの平和活動面を推進すること、他の平和団体と連携および適当であれば他の団体へのサーバス代表の派遣を勧めること、国際本部においてナショナル・グループのピース・セクレタリーの意見を代弁すること、が含まれます。

ピース・セクレタリーは、各ナショナル・グループが、サーバスの普及活動のための、および同じような価値観と目標を有する他団体との協力のための、戦略と行動計画を開発することを支援して、寛容、開かれた心、友情の構築、平和および非暴力といったサーバスの諸価値を推し進めます。ピース・セクレタリーは、各ナショナル・グループが自国・地域のピース・セクレタリーを任命して、すべてのサーバス会員と平和活動を共有することを応援します。ナショナル・グループは自国・地域の平和活動を定期的に国際サーバス本部のピース・セクレタリーに報告することを奨励されており、本部ピース・セクレタリーはその情報をすべてのナショナル・グループに配布します。

サーバスは、1973 年以来国際連合に認定されており、代表がジュネーブとウィーンとニューヨークにいます。この認定は、サーバスに一定数の権利を付与していると同時に、国連の仕事に関する知識を広める責任や、可能な場合には国連の諸決議を履行する責任をも負荷しています。本部のピース・セクレタリーは、ナショナル・グループが国連におけるサーバス代表の仕事と国連の活動全般について情報提供するよう勧めています。本部のピース・セクレタリーの責任の一つは、国連におけるサーバス代表者の仕事をサポートし、国際サーバス本部において彼らの利益を代弁することです。

Ⅶ. 国際サーバス

1. 国際サーバスの構成

国際サーバスはサーバス・ナショナル・グループ(各国・地域のサーバスグループ)の連合体です。自国・地域にまだナショナル・グループが存在しない場合には、誰でもナショナル・グループを立ち上げることができます。そのような場合は開発委員会が支援します。<development@servas.org>

国際サーバス規約にはサーバスのナショナル・グループが互いにどのように連携すべきか、明記してあります。2012 年版国際サーバス規約を参照してください。同規約は以下の章からなります。

- I. 定義
- II. メンバーシップ
- III. 役員
- IV. 総会
- V. 執行委員会 (Servas International Executive Committee 通称 SI EXCO)
- VI. 会議における投票

- VII. 遠隔投票
- VIII. 役員の義務と責任
- IX. 解散
- X. 規約の改正

国際サーバスにおける決定は総会において、および遠隔投票によってなされます。

連合体である国際サーバスで投票権を持つメンバーをメンバー・グループと呼びます。メンバー・グループは各 1 票を持ちます。国際サーバス規約にはメンバー・グループになる要件が明記してあります。総会または遠隔投票の結果によってメンバー・グループの数は増減します。

2. 国際サーバスの決定方法

「総会」(General Assembly)

- ・ 国際サーバスは通常3年ごとに総会を開きます。総会は、たいていの場合は国際サーバスのより大規模な集会の一部をなします。
- ・ 各メンバー・グループは総会に1名の代表(通常はナショナル・セクレタリー、つまり会長)を送ることができます。
- ・ 総会を欠席するメンバー・グループは、委任状によって投票することができます。
- ・ 決議は出席したメンバー・グループごとに1票を投じることによってなされます。
- ・ 国際サーバス会長が総会の責任を負っています。
- ・ 通常、総会の開催国はメンバー・グループの中から SI EXCO によって選定されます。2001年の総会で以下の選定基準が決議されました。

- (1)ローテーション(輪番制。諸会合は世界の異なる地区で開催されるべきである)
- (2)保健衛生状態
- (3)治安状況
- (4)入国管理(パスポートとビザ)
- (5)アクセスの良さ(会場への往復)
- (6)適切なインフラストラクチャー(交通・通信・医療など)
- (7)コスト的な開催可能性
- (8)組織運営を助ける十分な現地のサーバス会員の存在
- (9)その地区の発展可能性への配慮
- (10) 適切な会議設備

- ・ 総会にできるだけ多数が参加できるように、通常は総会参加のためにある程度の補助金が用意されます。各総会の前に補助金支給基準が公表されます。
- ・ 例えば、2012年の総会で以下の決議がなされました。

「総会参加のための補助金を申請する国・地域は、審査を受け、自国・地域のホストリストが国際サーバス本部のホストリスト・コーディネーターが規定する標準形式に

適合していて、その信頼度が少なくとも 70% でなければならない。」

「遠隔投票」(Distant Vote)

- ・ 総会と次回の総会の間には遠隔投票の方法が取られます。これは国際サーバス規約に明記されています。
- ・ 各メンバー・グループはそれぞれ1票の遠隔投票権を有しています。
- ・ 総会の2ヶ月後に、SI EXCO は遠隔投票のスケジュールを公表します。
- ・ 総会と次回総会の間、会計報告と監査報告および予算の変更に関して、各年ごとに少なくとも1回の遠隔投票が実施されます。
- ・ 遠隔投票の手順は、遠隔投票管理者と国際サーバス事務局長によって監督されます。

3. 国際サーバスの役職と各種委員会

- ・ 国際サーバスの役職と各種委員会、任命される役職と委員会、並びに臨時に組織される作業部会
- ・ SI EXCO の下記の委員だけは、規約上、総会での選挙によって選出されなければなりません。
 - 会長
 - 副会長
 - 会計担当
 - 事務局長
 - ピース・セクレタリー
 - ホストリスト・コーディネーター
- ・ その他のすべての役職員および委員会メンバーは、総会で選出されてもよいし、総会が SI EXCO に任命権限を与えている場合には SI EXCO によって任命されます。
- ・ 現在の慣行では、以下の委員会が総会で選出されています。
 - 文書記録管理者
 - 会計監査委員会
 - 紛争解決委員会
 - 開発委員会
 - 遠隔投票管理者
 - 職務分掌並びに規約委員会
 - ニュースレター編集者
 - 候補者指名委員会
 - ユース委員会
- ・ 現在の慣行では、以下の役職者と委員会が SI EXCO によって任命されています。
 - 予算委員会
 - Dolphin チーム
 - ヘルプデスク
 - 情報通信チーム(ICT)

- メンバーシップ委員会
 - 補助職員
 - 国連オブザーバー
- ・ 職務分掌については [Job Descriptions](#) を参照してください。
 - ・ エリア・コーディネーターは、そのエリア(国際サーバスの地区区分)のメンバー国によって選出されます。エリア・コーディネーターの選挙は総会で は行われず、通常はメールによります。「エリア・コーディネーター指針と選挙規則」[AC Guidelines and Election Rules \(Eng\)](#) or [AC Guidelines and Election Rules\(esp\)](#) (英語またはスペイン語)を参照してください。

5. 国際サーバスの諸手順と業務の執行

- ・ 日常業務上の決定は、総会および遠隔投票でなされた決議に基づいて SI EXCO が行っています。

「使用言語」

- サーバスで最も使用頻度の高い言語は英語です。国際サーバスの情報伝達は英語で行われています。しかしながら、サーバス活動において英語に堪能であることは必要ありません。二番目に使用頻度の高い言語はスペイン語であり、一部の文書はスペイン語に翻訳されています。
- 2015 年の総会で以下の決議がなされました。
「国際サーバスのコミュニケーションで使用する言語にスペイン語を加えること、そのために初年度に 10,000 CHF(スイスフラン) の予算を充てること、検証すべきこと、コーディネーターを任命すること、が合意された。」

「サーバスのエリアとエリア・コーディネーター」

- 世界の一部にはサーバス・エリア・コーディネーターがいます。
- サーバスのナショナル・グループはエリア・コーディネーターの配置を要請することができます。
- SI EXCO は、エリア内のメンバー・グループの要請に従って、エリアの状況の検討とエリア・コーディネーターの選挙を調整します。

「メンバー・グループの年ごとの義務」

- 年次活動報告 — 報告書のフォームは事務局長から配布され、提出期限は 3 月 31 日です。
- 年次会計報告とスタンプ代金の支払い — フォームは会計役から配布され、期限は 3 月 31 日です。
- 新年度分のスタンプ請求 — 期限は 12 月 31 日です。
- ホストリストの年次更新 — 特定の期限日はありませんが、少なくとも年 1 回は行ってください。
- 国際サーバスのニュースレターを、自国・地域内のホストとトラベラー全員に配布して

ください。

- 自国・地域の主な役員に関する情報と、eメールの転送体制を常に最新のものにしておいてください。

「国際サーバスの技術面」

- 国際サーバスは一元的なシステムである ServasOnline に移行しつつあり、それについては www.servas.org を参照してください。2016 年中の実行が計画されています。
- 現在のサーバスのウェブサイトである www.servas.org には、国際サーバスに関する基本的な情報が含まれており、そこから特定の国・地域にリンクが張られていて、そのリンク先を通じて個人がサーバスに加入できるようになっています。
- 現在使用しているコンピューター・システムは Dolphin システムです。Dolphin は安全なシステムであり、氏名とパスワードを必要とします。ボランティアのグループ dolphin.team@servas.org によって管理されています。
 - ◇ 各国・地域の代表者と連絡するためには Key Dolphin を使用する必要があります。各ナショナル・グループは <国名@servas.org> というフォーマットの e メールアドレスを持っており、そこあての e メールはその国・地域の代表者に転送されます。Key Dolphin は将来は新しい ServasOnline システムに統合される予定です。
 - ◇ 現在、各国・地域は独自のホストリストを有していますが、Key Dolphin はそれらを一元化して Dolphin Host List Storage Area の中に組み入れ、世界中の会員がそれらを共有できるようになるでしょう。（各国・地域はホストリスト情報の管理方法を規定しています。）
- 国・地域によっては独自にコンピューターシステムを開発しています。一方、25以上の国・地域がホストのデータを管理するために Host Dolphin システムを利用しています。
- 現在、各国・地域はホストおよびトラベラーの情報、会計などを管理する仕方を決めています。何カ国かが共同して管理しているケースもあります。
- 2009 年および 2012 年の総会で、新たに ServasOnline システムを立ち上げ、全世界のホスト及びトラベラーの情報を共有できるようにする事が最優先の課題である、と決議されました。

「国際サーバスのニュースレター」

- 国際サーバスのニュースレターは、年数回発行されています。

「国際サーバスの紛争解決法」

- 国際本部には紛争解決委員会があり、問題が生じた場合にはそこに解決を依頼することができます。

「SYLE (Servas Youth Language Experience) プログラム」

- これは国際サーバスのユース部会が担当する事業で、青年たちが外国に出かけ、その国の言語と文化を学ぶものです。
- これに参加するための申込みと選抜の決まりがあります。
- SYLE を実施する国・地域はユース委員会と協議して、場所や日程などを取り決めます。
- このプログラムの対象を成人にも広げ、言語体験だけでなく異文化体験も計画しようという取り組みが進んでいます。

6. 国際サーバスの財務手順

- ・ 3年ないし4年間に及ぶ国際本部の活動予算は総会で承認を得ることによって決まります。一方、その間の年ごとの予算は遠隔投票によって決まります。予算委員会は国際サーバス本部会計役と協議の上、最新の予算の執行に当たります。
- ・ 総会で選出された会計役は、国際サーバスの財務に関わります。
- ・ 総会で選出された監査役は、国際サーバス本部の会計業務を毎年監査します。
- ・ 国際サーバス本部の主たる収入はスタンプ代金によるものです。
 - * 10枚以内は無料
 - * 11枚～50枚までは@10 CHF(スイスフラン)
 - * 51枚～300枚までは@15 CHF
 - * 301枚～550枚までは@18 CHF
 - * 551枚以上は@20 CHF
- ・ 地方で集まり又は委員会を開くため、国際本部に補助金を申請することができます。(exco@servas.org)
- ・ 地方で開発事業を計画する場合、開発委員会に補助金を申請することができます。(development@servas.org)
- ・ サーバスの名のもとに集められたお金は、すべてサーバス事業の為に使わなければなりません。個人的な目的のために「サーバス」という名称を使うべきではありません。
- ・ 毎年、自国・地域の会計担当者および監査役はその年度の収支報告を全会員に対して提示することが必要です。年度途中であっても、請求があった時には提示されるべきです。

V. ナショナル・グループ(各国・地域のサーバスグループ)

1. ナショナル・グループの定義

- ・ ナショナル・グループとは、下記の任務を遂行する一人またはそれ以上の連絡担当者を有する国・地域のサーバス組織のことです。
 - その国・地域でサーバスを代表する責任を取る。

- ホストおよびトラベラーとインタビューする。
- ホストリストの作成を準備する。
- その国・地域あての e メールを受信し、質問に回答する。
- そのナショナル・グループの財務を管理する。

2. メンバー・グループの定義

- ・ メンバー・グループとは、国際サーバス規約に定めている条件を満たしているナショナル・グループのことです。
- ・ ナショナル・グループによって提出されたメンバー・グループへの昇格申請は、総会または遠隔投票によって検討されます。申請の送り先はメンバーシップ委員会 <membership@servas.org> です。
- ・ メンバー・グループは総会または遠隔投票においてそれぞれ1票の投票権を有します。
- ・ メンバー・グループの主たる連絡担当者がナショナル・セクレタリーです。
- ・ 以下のメンバー・グループに関する定義は、2012 年8月に承認された国際サーバス規約から抜粋したものです。

メンバーシップ

- 1) 一人一人確認された 10 名以上のホスト(デイ・ホストを含む)を有し、3 名の連絡担当者が確定されている国・地域のサーバス・グループは、総会において過半数の賛成を得てメンバー・グループになる、あるいはメンバー・グループとして再認定されることができる。一人のホストとは、同一の住所を共通にする一つの世帯と定義される。メンバー・グループになるための申請には以下の三通りがある。
 - b) 当該国・地域が直接に申請する。
 - c) 国際サーバス・エリア・コーディネーターまたは委員会からの推薦される。
 - d) 総会において勧誘される
- 2) メンバー・グループの国際サーバスに対する責務は、諸費用の支払い、ホストリストの毎年の更新、年次活動報告の提出、規約の第 IV 章3fに規定された通り、総会で決議された規則や手順を遵守することであり、それらに限られる。
- 3) メンバー・グループは、特別な状況下にある場合を除いて、以下の場合は総会における過半数の賛成によって国際サーバスのメンバーシップを失う。
 - a) 2年連続してナショナル・セクレタリーが機能していない。
 - b) 2年連続して会員数が上記1)の基準を下回った。
 - c) 2年連続してその責務を果たしていない。

3. ナショナル・グループの構成

- ・ ナショナル・グループは、国際サーバスの責務を果たす限り、独自に組織および運営をすることができます。
- ・ ナショナル・グループは、その国・地域を代表するナショナル・セクレタリー又は代表役員を有しなければなりません。

- ・ ナショナル・グループによっては、以下のような状況にあることもあります。
 - 法人化あるいは組織化されている
 - 規約を有している
 - 理事会又は執行部を有している
 - 選挙を実施している
 - 支部を有している
 - 複数のインタビュー担当者又はホスト・コーディネーターを有している
 - 積極的に福祉活動や他団体・組織との接触を図っている
 - (国内)会員 1 名で活動している
- ・ 財政面でも違いがあります。 ナショナル・グループは、
 - スタンプ代金を計算して国際サーバスに支払います
 - 独自に予算を執行します
 - トラベラーの認定スタンプ代金を独自に決めます
 - ホスト会員の年会費を独自に決めます
 - 募金又は集金の方法を独自に決めます
 - 国・地域内において徴収した金額を何に使うか、独自に決めます

4. ナショナル・グループの役割

- ・ 会員数の多寡により、一人又は複数の役員が組織の運営の責任を負います。
- ・ 各メンバー・グループの中心となる人物はナショナル・セクレタリーです。内部的な呼称は国・地域ごとに異なっていますが、国際サーバスとしてはナショナル・セクレタリーという名称を使っています。
- ・ 設立中のナショナル・グループ、あるいはメンバー・グループとしての条件を満たしていないナショナル・グループにおいては、ナショナル・セクレタリー又は主たる連絡責任者が指導的役割を果たします。
- ・ 会員数の多いナショナル・グループには以下のような役員が置かれます。
 - 会長
 - 副会長
 - 会計役
 - ホストリスト・コーディネーター
 - ピース・セクレタリー
 - インタビュー担当
 - 支部ホストコーディネーター

5. ナショナル・グループの任務

- ・ ホスト
 - 各ナショナル・グループは、自国・地域のホストと面接し、会員として承認し、登録し、その情報を他のすべての国・地域のトラベラーが利用できるように纏めます。

- 各ナショナル・グループは、ホストリストを作成して配布し、それを少なくとも年に一度更新します。ホストリストは Dolphin Host List Storage Area 内に保管されており、各国・地域の主要役員はそれにアクセスできます。
- Dolphin という、ホストのデータを管理するために利用できる標準化されたサーバのデータベースがあるわけです。Dolphin チーム <dolphin.team@servas.org> はいつでも援助する用意があります。
- ・ トラベラー
 - 各ナショナル・グループは、自国・地域から出発するトラベラーと面接し、トラベラーとして承認し、LOI にスタンプを押してから、本人が旅行する国・地域のホストリストを渡します。
 - LOI には国際サーバのスタンプが張り付けられます。このスタンプは国際サーバ会計役 <treasurer@servas.org> から提供されます。
 - ホストリストは Dolphin Host List Storage Area 内に保管されています。援助を求める場合は国際サーバのホストリスト・コーディネーター <hostlistcoordinator@servas.org> に連絡してください。
- ・ ニュースレターと広報活動
 - 各ナショナル・グループは、国際サーバニュースレター (SI News) を自国・地域の全会員に配布します。
<<http://www.servas.org/who-we-are-newsletter.php>>
 - 多くのナショナル・グループが独自のニュースレターを発行しており、他のナショナル・グループと交換しているところもあります。
 - 実際にサーバ体験をした人が最善の広報活動を果たしてくれます。

6. ナショナル・グループの設立

- ・ 国際サーバの開発委員会 (Development Committee) が、情報提供や指導的アドバイザーの派遣などによってナショナル・グループの設立を支援しています。 <development@servas.org> 「設立者のためのスターターキット」があります。

VI. サーバス・ボランティアのための指針

2000 年版ハンドブックには、すでに失効した指示もありますが、それも役に立つはずです。

現在では主要な国・地域はすべて独自のルールを発達させており、それらは 2000 年版ハンドブックと概ね類似しています。しかしながら、ServasOnline が計画されてすべてのガイドラインに重大な影響を及ぼすでしょうから、ここでは単に 2000 年版ハンドブックの該当箇所を指摘しておいて、ServasOnline が実施された時にはそれらのガイドラインをそっくり入れ替えば良いでしょう。

1. 質問や疑問への対応
 - ・ 期待や要望への対応
 - ・ 次取るべき策 ([Servas Information for enquirers 2000 SI Handbook](#))
2. ホストへの情報提供
 - [Servas Information for hosts 2000 SI Handbook](#)
3. トラベラーへの情報提供
 - [Servas Information for travelers 2000 SI Handbook](#)
4. ホストやトラベラーとのインタビューのためのガイドライン
 - ・ インタビュー前に準備すること：「インタビューの前に」～パンフレット資料および情報
 - ・ インタビュー時：評価、参考データ、配布物、情報
 - ・ 期待や要望への対応
 - ・ 質疑応答のサンプル集
 - [Servas Information for the interviewers 2000 SI Handbook](#)
 - [Servas Interviewing Guide 2000 SI Handbook](#)

VII. 書式のサンプル

書式は国ごとに異なっています。以下に紹介するのはカナダ・サーバスが使っている英語とフランス語の書式です。 <<http://canada.servas.org>>

1. ホスト登録用の書式
 - ・ ホストに関するデータ
 - ・ ホストの責任(英語・フランス語)
 - ・ 個人情報に関する同意(英語・フランス語)
2. トラベラー認定状(LOI)
 - ・ LOIの書式
 - ・ トラベラーの責任(英語・フランス語)
 - ・ ホストに関するデータの守秘義務(英語・フランス語)
 - ・
3. 全般的な情報
 - <<http://canada.servas.org>>
4. トラベル・レポート
 - (今のところサンプルはありません。)

補足 A: 補助金申請の対象となりうるプログラム

- ・ 対外活動補助金 — 200 US\$ 以内; ピースセクレタリー (2009 年総会決議)
- ・ 新しいグループへの少額補助金 — 200 US\$ 以内; 開発委員会 (2009 年総会決議)
- ・ 現存グループへの少額補助金 — 200 US\$ 以内; 開発委員会 (2009 年総会決議)
- ・ サーバスの理念に見合う特別の目的を持った会合への補助金 — 申請に応じて認定; 開発委員会 (2009 年総会決議)
- ・ エリア国際会議 — 予算額による — SI EXCO に申請する。
- ・ 特別な関心事の会合 — 例: ユース部会の会合、重点課題に関する会合 — SI EXCO に申請する。

補足 B: 承認された外部との契約

- ・ 外部監査役 — 会計役が監督する。(規約にあり)
- ・ 資格のある国際サービスの会計役がいない場合には、SI EXCO は臨時に会計士を採用して報酬を支払う。会計役が監督する。(2006 年総会決議)
- ・ 資格のあるシステム・アドミニストレーターのボランティアがいない場合には、SI EXCO は適任者を一名採用して 1,000 CHF までの年棒を支払う。ICT が監督する。(2012 年総会決議)
- ・ 国際サービスと、物品販売業者またはサービス提供者との間の取引関係は、物品またはサービスの価格が 500 CHF を超える場合には、EXCO によって承認された、あるいは EXCO がその権限を付与した委員会によって承認された、書面による契約に基づかなければならない。(2012 年総会決議)
- ・ ServasOnline: 設計は 2014 年に完成; 開発は 2015-2016 年

補足 C: 総会と遠隔投票による決定

新しい年度から表記して

- ・ 2015年総会決定事項
- ・ 2014年遠隔投票による決定事項
- ・ 2013年遠隔投票による決定事項
- ・ 2012年総会議事録
- ・ 2012年総会決定事項
- ・ 2011年遠隔投票による決定事項
- ・ 2010年遠隔投票による決定事項
- ・ 2009年総会議事録

- ・ 2006年総会議事録
- ・ 2004年総会議事録
- ・ 2001年までの総会議事録
（2001年、1998年、1992年、1989年、1986年、1983年、1980年、1978年、1974年、1972年、1970年、1967年、1966年、1965年、1964—1970年特集）